

経鼻インフルエンザワクチン「フルミスト」確認票

◇経鼻インフルエンザワクチン「フルミスト」とは

従来の注射によるインフルエンザワクチン(不活化ワクチン)とは異なり、鼻から投与するタイプの弱毒生ワクチンです。

注射ではないためお子様の負担が少なく、接種も1回で済むためご家族様の手間も少なく済みます。

アメリカをはじめとする諸外国では何年も前から接種が行われておりましたが、日本ではなかなか承認が得られず、一部のクリニックで海外から輸入したワクチンを患者様の自己責任で接種している状況でした。

昨年より国内での臨床試験をクリアしたため、日本全国でフルミストワクチンの接種が開始されました。

◇フルミストを選択するメリット

- ・注射と違い痛みがないのでお子様が予防接種を嫌がりにくい
- ・1回の接種で終わり、接種時間も10秒程度なのでスムーズに終わる
- ・注射と違い接種部位が腫れない
- ・感染予防効果が注射より長い

◇作用機序

鼻腔粘膜に弱毒化されたウイルスが侵入することで免疫獲得が行われます。

従来の注射ワクチンではIgGという抗体のみが誘導されますが、フルミストは直接鼻粘膜に作用してIgAという抗体を粘膜表面に誘導します。そのため、従来のワクチンよりと同等の重症化予防効果だけでなく、より強く、そして長期間持続する感染予防効果を発揮します。

◇対象年齢

2-18歳のお子様を対象となります。

ただし、泣いたり暴れてしまうと上手く接種できなかったり、鼻水が増えてしまうと効果が減弱してしまう可能性があります。泣かずに座って接種できるお子様に接種することをお勧めします。

諸外国では成人も接種可能となっており、日本でも一部のクリニックでは成人への接種を行っています。当院でも今年からご希望があれば成人の方への接種を行いますが、19歳以上の方は製薬会社が定める接種対象外であるため、万が一有害事象が発生した際の補償

は一切できないことをご理解ご了承のうえご予約ください。

◇接種方法

両鼻腔に 0.1ml ずつワクチンを噴射するだけで接種が完了します。

鼻をすすって薬液を吸い込む必要はありませんので、鼻すすりができないお子様でも接種可能です。

◇接種回数

いずれの年齢も 1 回のみです。

従来の注射ワクチンより予防効果持続時間が長く(約半年と言われていています)、1 回の接種でインフルエンザの流行期をまるまるカバーできます。

◇接種料金

一律 9000 円 ※クレジット決済のみです

注射ワクチンが 1 回 3500 円(12 歳以上は 4000 円)

12 歳未満では 2 回接種が必要なので計 7000 円、フルミストのほうが 2000 円ほど高くなりますのでご注意ください。

◇予約方法

Web 予約のみの受付となります。

お支払いはクレジットカード決済のみ(事前決済制)とさせていただきます。ご予約の時点で必ずクレジットカード情報のご登録をお願いいたします。

フルミストは日本での承認を得てまだ 2 年目のワクチンになります。注意事項がいくつかありますので、必ずこのフルミスト確認票とフルミスト問診票(HP に掲載しております)をご一読いただくようお願いいたします。

数量限定のワクチンとなりますので、患者様のご都合によりキャンセル、または注射ワクチンへの変更などはお受けいたしかねますのでご了承ください。もし無断でのキャンセルされた場合や当日注射ワクチンへ変更をされる場合もフルミストの料金は返金いたしかねます。

◇他ワクチンとの接種間隔について

生ワクチンではありますが、接種経路が通常のワクチンと異なるため他ワクチンへの影響はありません。そのため接種間隔をあける必要はありません。

ただし、当院では他ワクチンとの同時接種はお受けいたしかねますのでご注意ください。

◇下記に該当する方は接種をお断りさせていただきます

- ・ 卵、ゼラチン、その他インフルエンザワクチンに対し、重度のアレルギー、アナフィラキシーの既往がある
- ・ コントロール不良な気管支喘息の方(過去 1 年以内に入院を要する気管支喘息発作を起こした方)、接種当日に喘息症状がある方
- ・ 重度の免疫不全、免疫抑制薬を内服している(ステロイド内服を含む)方
- ・ アスピリンを内服している(川崎病治療中)方
- ・ インフルエンザ罹患中、抗インフルエンザ薬使用中の方
- ・ ギランバレー症候群に罹患したことがある方
- ・ 妊娠中である、妊娠の可能性がある、妊娠する予定がある、授乳中である方
- ・ 明らかな発熱がある、鼻汁、鼻閉がひどいなど体調がすぐれない方

※現在治療中の疾患がある方は必ず主治医から接種の許可をもらうようお願いいたします
※必ず下記 URL よりメーカー添付文書をご確認ください。

https://www.kegg.jp/medicus-bin/japic_med?japic_code=00071428

◇直近でインフルエンザに罹患してしまった場合

インフルエンザ A ないし B に感染してしまっても、従来のワクチンと同様で元気になったらフルミストを接種することが望ましいです。その場合は隔離解除後 14 日間はあけてから接種いただくようお願いします。

万が一ご家族がインフルエンザに罹患中の場合は接種は控えたほうが望ましいです。抗インフルエンザ薬の予防内服を行った場合は、最終投与から 48 時間以上あけて接種することが推奨されています。

◇副反応

生ワクチンのため、3-4 割の患者様で軽い風邪症状を認めることがあります。

ごく稀に、発疹、じんましん、アナフィラキシーショック、ギランバレー症候群などの重篤な副反応を起こす可能性があります。他のワクチンと比較して高率に合併するということはありません。

鼻粘膜に弱毒化したインフルエンザウイルスを噴霧するため、接種後あまり時間が経たないうちにインフルエンザ迅速検査を受けると偽陽性となることがあります。